

競技方法

競技規則

2025 度日本ソフトボール協会オフィシャルルール及び本大会規則による大会期間中及び試合中に熱中症特別警戒アラート等が発表され熱中症による選手等の健康に重大な被害が生じると判断した場合は大会の中止・試合を中断する。

試合球

ゴム製 2 号公認球(ナガセケンコー)とし、主催者側で準備します。

試合方法

①予選はリンク戦とする。各ブロックの代表決定方法として、勝率が同率の場合(1)勝ち点(2)失点数(3)選手 9 人による抽選の順とする

※勝ち点 3 点 引き分け 1 点 負け 0 点

※予選リンク戦の試合時間は 60 分、決勝トーナメントは 70 分とする。

※予選リンク戦は、55 分、決勝トーナメントは、65 分を過ぎて新しいイニングに入らない。

※延長戦は、7 回終了時に1試合の時間内であればタイブレークを1回のみ行う。ただし決勝戦のみ 7 回または 70 分終了時同点の場合は最大 2 回までタイブレークを採用し、タイブレークで勝敗がつかない場合は、両チーム優勝とする。

②試合開始時間 30 分前または前の試合 3 回終了時まで各コートは事務局へオーダー表を提出すること。

③ベンチは、若番が 1 塁側、攻守はコイントスで決定する。

④ホームランラインを本塁上から 50mに設置する

※ゴロで抜けた場合はスリーベースとする、送球間で抜けた場合はテイク2とする。

⑤3 回 15 点、4 回 10 点、5回以降 7 点以上生じた場合は、「得点差コールドゲーム」を適用する。

※55 分を過ぎて先攻チームが 8 点以上リードしている場合は、攻守を交代して最終回とする

⑥熱中症対策として、1 イニング 10 点入った時点で攻守を交代する

⑦2 イニング毎もしくは 15 分毎で 3 分間の給水タイムを取ります。

※試合時間は中断します

⑨打者、走者、次打者、ベースコーチは、ヘルメットを着用すること。

捕手は、捕手用ヘルメット・スロートガード付マスクを着用すること。

⑩予選リンク戦の公式審判員は主審のみ、塁審については各チームで帯同審判をお願いします。(組合せ表をご覧ください)

⑪決勝トーナメント戦の抽選会は、14 日 7 時 30分から河川敷グラウンド 第 1 コートで行います。